

令和4年度第1回津島市人権施策推進審議会 議事録

令和4年6月29日(水) 14:00~15:25

津島市役所4階大会議室

出席者

委員 (◎: 会長 ○: 副会長)

○水谷瀧男委員、◎黒田剛司委員、小澤功子委員、鈴木悦子委員、梶村明人委員、加藤栄一委員、野田勝子委員、前田慶子委員、竹本都美子委員、三輪宮子委員、木村智衆委員

日比市長

事務局

安井市民生活部長、前田人権推進課長、伊藤統括主任、古田主査

欠席者

遠松奈津子委員、青木啓委員

1 開会

2 委員紹介

3 事務局職員紹介

4 議題

(1) 会長等の選出について

① 会長の選出

事務局

委員改選がありました関係で、会長が選出されるまでの間、事務局が議事を進行いたします。

それでは議題(1)の①会長の選出についてですが、津島市人権施策推進審議会要綱第5条第2項の規定により、委員の互選によってこれを定めるとされておりますので、会長の選出をお願いしたいと思っております。どなたかご意見はございますでしょうか。

A委員

はい。会長に黒田委員をお願いしたいと思っております。

事務局

今、A委員から会長に黒田委員というご推薦がありました。いかがでしょうか。

それでは、黒田会長、議長席へお願いします。黒田会長ごあいさつの後、議事の進行をお願いします。よろしくをお願いします。

黒田会長

[あいさつ]

② 副会長の選出

黒田会長

まず、副会長についてですが、副会長は水谷委員にお願いをしたいと思います。

(2) 津島市人権施策推進プラン 2030 令和3年度事業実績報告書（案）及び令和4年度実施計画書（案）について

黒田会長

それでは、議題(2) 津島市人権施策推進プラン 2030 令和3年度事業実績報告書（案）及び令和4年度実施計画書（案）について事務局から説明をお願いしたいと思います。

事務局

[説明]

黒田会長

まず、令和3年度の事業実績報告について、ご意見をいただきたいと思います。

A委員

講座をやるのはいいが、アンケートを取って、どの程度理解されているのかなど把握する必要があると思う。次回の講座についてより良いものにするにはアンケートをする必要がある。やっていった方が前進できると思う。

事務局

人権講演会と人権講座について、アンケートを実施しています。

黒田会長

令和4年度に実施したことについてアンケートの結果はどうだったのか。だから、令和5年度こうしますってしていった方が良いと思う。もちろんされているとは思いますが、もう少し分かりやすい形で。

B委員

人権施策推進審議会の要綱を見させていただいて、私たちが関わる仕事、役目というのが策定及び見直し、進捗状況の点検及び評価ということです。プランが出されてここから10年残り8年になるがコロナが流行って、できなかった事業が2つあるということなのですが、評価指標というものがあって、それに到達したから十分効果があるとか、コロナ前と比べて全然変わっていないし、余り需要がないのか余り効果がないのか、そういう指標になるものがあるのかないのか。また、それを毎年点検していくのか、3年に1度点検していくのか、5年後で見越して点検していくのか。その辺りを審議会としては基本的にどういうペースで行くべきか、コロナがあったことにより、どの団体もかなり中断や中止してしまう。でもそれで動いていってしまっていて、大丈夫だよってところも部分的にあると思うのですが、そうする

とそこまでの必要性がある事業なのかということも逆にチェックができるのではないかと思います。72事業あるということは本当に大変で、大きく見直すのが10年に1回というのは大まかには分かるのですけれども、どれくらいのスパンで評価、点検をしてから、見直していくのか、事業を融合したり、統廃合したりして、これから少子化ですし、行政の方も人員が減っていく中でこれだけの事業がはたして届いているものなのか。ここにはやった、やらないしか書いていない。それで、点検、評価ができるのかなと思う。そのような視点のこと教えていただけると、こちらも見直しなどができる。

黒田会長

例えば、資料2の1ページ、人権に関する学習機会への支援、実施状況に〇ってありますけれど、この〇ってというのは講座を実施したことだけの〇、それに対して高校の生徒さんからの講座への理解度とかは分かっていないということ。アンケート取ってる。

事務局

高校の教職員・生徒様向けには取っていないです。

黒田会長

数値目標とかは何もなかったよね。

事務局

P T A様向けの講座など少人数の場合はアンケートを取らせていただいて、概ね理解できたなど簡潔なアンケートを取らせていただいている。プランの数値目標は課としては定めてはいない。プランに反映しているのは実施したかしていないかで止まっています。

黒田会長

やったことに対して、実施した、しないだけではなくて、もう少し具体的な効果を把握することによってプランに繋がってきたりする。そのあたりを考慮して令和4年度進めていったらどうかと思う。

水谷副会長

昔はただ、〇とか×じゃなくて、◎とか△があったような気がする。実際やったものに対して評価をして、事務局なりの効果を付けていってもらいたいかなと思った。

黒田会長

市民意識調査などのアンケートを見る限り、人権に関することで講座とか参加して勉強になったという結果が多い。やった、やらない以外に目標が欲しい。目標を達成するためにこういう講座をやるんだ、そういうような目標があった方が良さうな気がします。

C委員

小学校の校長先生が6年生を対象に人権の講座を人権擁護委員の先生から年に1回やってもらえないかとおっしゃっていた。高校生を対象に講座をやっているが中

学校、小学6年生を対象に講座を実施した方が良いと思う。しっかりした知識を持っていれば、大人が偏見を持った話をした時に違うよと自分の意見が言える。

黒田会長

人権擁護委員として、人権教室を小学校低学年には実施しているが、小学校高学年、中学校、高校には今まで取り組んでいなかった。計画していかなければいけないなと思った。間違った知識を子どもに教えないようにするために、子どもに正しい知識を教えないといけないとともに、大人にも教えていかなければならない。

資料4の人権啓発DVD上映会計画はどういった形で実施する予定ですか。

事務局

南文化センターの地域サロンにおいて、人権啓発パンフレット等を配置し、人権啓発DVDを繰り返し流すような形で実施する予定です。

黒田会長

資料5ですけど、講師とか日時とか全然書いてない。6月の終わりで令和4年度の計画がこれはありえないと思う。

事務局

例年、年度の後半に実施することが多く、現状は決まっています。

黒田会長

計画をもう少し具体化しないと。審議しようがない。

事務局

この内容は別の協議会で協議するもので、過去の議事録を確認した際に、審議会の中で女性の人権講座の実施について、話題にあがることもあり、市の女性の人権や男女共同参画について講座の実施計画についてお知らせするための資料として準備いたしました。

C委員

DVDは昨年度貸出件数ゼロ。小中学校でどんどん使っていて。少しずつでも知識をつけてもらいたい。それと中学校で人権作文コンクールが参加の数が少ない。もっと参加していただきたいと思います。

B委員

いろんな宿題があるので1年生は読書、2年生は人権等、学校で割り振りがしてあるので、そういった数字が出ていると思います。

今、いろいろお聞きして思うのは一度、10年間この施策を進めるが0歳から60、70歳までのところで年齢に応じてどれだけの講座が何歳くらいで何回とか、どれだけの対象でやってきたかを年間を出してみると、どれだけ人権についてこの課が押さえているんだというのが見える。また同じ課がやっているなどの無駄や抜けているところも見える。企業もコロナで今までのものを見直して動いているという現実がある。ITとかIoTも含めたデジタルものも使っている。学校の保護者の方と話をしたら、文書を出しても見ません。たよりも見ない。SNS、映像や写真でしか反応しない。文書を作ってみてくださいと言っても伝わらないとおっしゃっていた。今

後、社会の現実と人権をどうマッチングさせていくかだと思う。

A委員

見てもらえない人がいるかもしれないが、人権問題について、理解を求めるためにはチラシを配るとか広報で知らせるとか何回もやっていかないといけない。読まない人がいるからやめましょうというのは疑問に思う。何回でもお話をして皆さんに理解してもらわないと思います。

B委員

そういうことをやるなという意味ではなくて、新しいメディアを意識した方法を使っていくということが大事なのではないかという意味で述べさせていただきました。

C委員

ケーブルテレビで週に1回、30分くらいの人権番組はできないかな。

黒田会長

津島市の広報は他の市町村の広報に比べて詳しく取り上げている。ホームページにも取り上げている。広報の素材を若い人に伝えるために、SNSを使うなどの手法を考えていかなければいけない。

D委員

低学年から何回も映像で人権問題を知った方が効果があると思います。

A委員

人権週間の時に人権啓発の映像を作って、流してもらおうと良いかもしれない。人権について、関心を持ってもらうことが大切なことだと思う。

D委員

アニメのようなものを何回も流すと良いと思います。

黒田会長

人権週間に向けてケーブルテレビと打ち合わせをするのであれば、一緒に行っても良いし、行政からのお知らせのところでも人権的な要素を入れていくのも良いかもしれない。

E委員

人権は目に見えないのでとても難しい問題だと思います。小学校は5・6年生対象で福祉実践教室をやっている。車いす体験とか、点字体験とか、福祉実践教室でしたことを子ども達は覚えている。そういうのを学校に取り入れてもらおうと良いかなと思います。

C委員

小学校の高学年から人権委員を設けて、主体的に積極的に人権について考えさせるような教育も必要。そういったこともお願いしたらどうでしょう。

黒田会長

令和4年度人権教育推進事業計画を進めていただいて、アンケートを取ってやっていただきたいと思います。

どうして偏見や差別が生まれるかという正しい知識が身に付いていないからだと思う。正しい知識を知ってもらうために講座と講演とかそういうものが必要だなと思う。

人権プランについて、実施状況の〇とかではなく、もう少し具体的な評価を各課でして、次にどうするかというのがあれば、いいなと思います。難しいかも分からないですけど。

水谷副会長

人権、特に部落差別について、愛知県下で講演の中で話しているが、自分がされたらどう思うのかという言い方で話をしている。差別される側に立ってみようということと話をしている。講演を聞いていた人が次の日から人権を無視した行動をしないかといえば、そのようなことはないと思う。だから、毎日、同じようなことでもいいから知らせていくことが大事かなと思う。

黒田会長

委員の皆様からの意見を取り入れるものは取り入れて、進めていただきたいと思います。あとケーブルテレビとの打ち合わせについても考えていきましょう。パネルでも作って、番組として5分、10分できればいいなと思います。ということで議題(2)は終わらせてもよろしいですか。それでは事務局へお返しいたします。

事務局

どうもありがとうございました。

5 閉会

事務局

以上をもちまして、本日の津島市人権施策推進審議会を閉会させていただきます。次回の開催は1月を予定しております。皆様には、長時間にわたり活発なご意見をいただき、ありがとうございました。